原子力施設見学会　参加者募集のお知らせ

町民のみなさまに原子力を正しく理解していただく事業の一環として、原子力関連施設の見学会を次のとおり行います。
参加料は無料です。参加を希望される方は、下記申込み方法に従ってお申し込み下さい。

日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター

・実 施 日／平成 27 年3月 21（土）
・見学施設／ HTTR 及び IS プロセス連続水素製造試験装置
・集合場所／大洗町役場　玄関前
・出発時間／午前9時 30 分出発　※出発時刻の 10 分前にご集合ください。
※見学当日は、写真付き身分証明書（運転免許証など）を必ずご持参ください。
※学生の方は、生徒手帳・学生証を必ずご持参ください。

申 込 み 方 法

募集人員　・40名です。（町内在住で日本国籍の方に限ります。なお、中学生以上を対象とし、中学生は保護者同伴とします。）

申込方法　・下記申込書又はハガキ・ＦＡＸに住所・氏名・年齢・性別・電話番号・勤務先をご記入いただき、町長公室まで申込みください。ＦＡＸ可。
なお、同行者がいる場合も必要事項をご記入ください。

申込締切　平成27年３月６日（金）（当日消印有効）
申込者多数の場合は抽選となります。結果は確定次第お知らせします。
※申込者少数の場合は中止することもありますので、ご了承ください。

問合せ先　大洗町役場 町長公室　☎267−5111（内線212）　Fax 266−3084

原 子 力 施 設 見 学 会 申 込 書

代 表 者

氏（ふりがな）名　　年齢　　才（男・女） 住　所 ＴＥＬ　　勤務先	氏（ふりがな）名　　年齢　　才（男・女） 住　所 ＴＥＬ　　勤務先
氏（ふりがな）名　　年齢　　才（男・女） 住　所 ＴＥＬ　　勤務先	氏（ふりがな）名　　年齢　　才（男・女） 住　所 ＴＥＬ　　勤務先

※枚数が足りない場合はコピーしてご使用ください。

日本原子力研究開発機構　大洗研究開発センター

大洗研究開発センターは、茨城県大洗町の地で業務を開始して以来、約50年にわたる長い歴史と研究実績を有しています。当センターは、新型原子炉に関する技術開発を一貫して行ってきた、我が国唯一のユニークな研究所であり、国内はもとより国際的にも新型炉研究の中核拠点として知られています。ここでは、仕様の異なる3種の試験研究炉（材料試験炉JMTR、高温工学試験研究炉HTTR、高速実験炉「常陽」）と関連研究施設において、エネルギー基本計画等の国の政策の下で、軽水炉の高度化や安全向上、高速炉の開発と原型炉「もんじゅ」の技術支援、高温ガス炉の開発及び原子力水素技術に係る研究等を実施しています。また、熱中性子炉（JMTR）及び高速中性子炉（常陽）という多様な中性子照射場は広く大学や産業界に利用され、我が国の学術や産業の振興にも貢献しています。さらに、これらの研究施設や研究実績に基づいて福島技術支援、国内外の人材育成への貢献も行っています。

高温工学試験研究炉（HTTR）

HTTRとは

高温工学試験研究炉（HTTR）は、我が国初の黒鉛減速ヘリウムガス冷却型原子炉で、平成10年11月に初臨界を達成しました。平成16年４月に約950℃の熱を取り出すことに世界で初めて成功し、平成22年３月には約950℃の熱を連続で50日間安定して取り出せることを実証しました。

また、近年HTTRは炉心溶融を起こさない原子炉として注目が集まっています。原子炉を冷却しているヘリウムガスの循環を止めた場合でも、原子炉の停止操作なしで、出力が低下し自然に静定することが、HTTRを用いた実験で確認されています。これらの優れたHTTRの性能は、すべて国産技術によって支えられています。

ISプロセスとは

水素を燃料とする自動車の一般販売が始まり、水素社会の到来を間近に感じさせます。JAEAでは、自動車用燃料等の水素需要に応えるため、水（原料）を酸素と水素に熱分解することにより水素を製造する熱化学法ISプロセスの研究開発を実施しています。平成26年３月に耐食性を有する工業材料で製作した連続水素製造試験設備（水素製造規模：毎時水素200リットル）を完成させました。今後は、本設備を用いて、強腐食環境下での機器信頼性や連続水素製造の検証を行います。また、HTTRに水素製造設備等の熱利用システムを接続するための検討も行っていく予定です。

ISプロセス連続水素製造試験設備